

## 平成22年度 第10回 (1月) 理事会議事録

■ 日 時 平成23年1月13日(木) 午後6時30分～8時00分

■ 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所

■ 出席者 今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、  
荒木、田畑、井戸田、山田、宮野、酒井、  
栗本、山西、杉山、増田、栗本監事、  
山中監事、事務(岩崎)

■ 欠席者 出野

■ 議 長 今井

### 【討議内容】

#### I. 行動報告 (12月分)

- 12月3日 手話講習会  
清水
- 6日 衛生検査所医療関連調査  
運天
- 7日 第4回合同フォーラム委員会  
今井、清水
- 9日 理事会  
今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、
- 9日 清水、荒木、田畑、井戸田、出野、  
宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、  
栗本監事、
- 11日 第50回近畿医学検査学会  
今井、運天、竹浦、吉本、高田、清水、  
荒木、宮野、酒井、杉山
- 11日 近臨技 臨時理事会  
今井、運天、竹浦、高田、荒木
- 11日 第50回近畿医学検査学会記念式典・記念  
祝賀会  
今井、運天、竹浦、高田、荒木
- 12日 第50回近畿医学検査学会  
今井、運天、竹浦、吉本、高田、清水、  
荒木、宮野、酒井、杉山
- 12日 近臨技第4回理事会  
今井、運天、竹浦、高田、荒木
- 12日 近臨技 学術部会  
今井、高田
- 14日 学術部会  
高田、宮野、山西
- 15日 総務会計部会  
運天、吉本、荒木、杉山、山田、酒井
- 16日 情報組織部会  
運天、井戸田、酒井、杉山、清水
- 16日 地区事業部会  
田畑、栗本、出野
- 18日 日臨技地区会長会議  
今井
- 18日 手話講演会  
竹浦、清水、大垣
- 18日 HIV啓発活動  
運天、竹浦、吉本、清水、田畑、大垣、  
増田
- 21日 渉外部会  
清水
- 22日 常務理事会  
今井、運天、竹浦、吉本、高田、荒木、  
清水、田畑、井戸田
- 25日 大阪府精度保証施設認証委員会  
今井

#### II. 経過報告

##### 1. 日臨技

- 12月18日に地区会長会議が開催された。
- 平成23年1月から会誌「医学検査」は年6回不定期の発刊に変更される。学会抄録集は、第61回からCDで配布される予定である。

- 平成23年11月11日に創立60周年記念式典が開催される。

##### 2. 近臨技

- 12月11日～12日に奈良県で第50回近畿医学検査学会が開催された。
- 12月11日に第50回近畿医学検査学会記念式典・記念祝賀会が開催された。
- 臨時理事会決議事項については、①平成23年度第51回滋賀学会名を「近畿支部医学検査学会」とする予定。②近畿地区協議会の運営についてはあり方委員会を立ち上げて検討する。(1月29日開催)
- 12月12日に第4回理事会で日臨技報告、各府県報告、委員会、部会報告、奈良学会報告、滋賀学会進捗状況報告があった。
- 日臨技地区会長会議では、第51回近畿支部医学検査学会シンポジウム打合せ会議と学術部会が開催された。

##### 3. 事務局

- 〈総務部〉
- 12月15日に部会を開催した。
  - 大臨技会員システムについて検討した。
  - 日臨技新体制への対応について検討した。
  - 大臨技会員証について検討した。
  - 大臨技総会について検討した。
  - 大臨技行事スケジュール管理について検討した。
  - 大臨技ニュース12月号を発行した。
  - 大臨技ホームページを更新した。
- 〈会計部〉
- 12月15日に部会を開催した。
  - 11月度収支決算書を作成した。
  - 日臨技へ11月分会費の送金を行った。
- 〈渉外部〉
- 12月21日に部会を開催した。
  - 手話講習会および講演会について反省をおこなった。
  - 合同フォーラム運営について討議をした。
  - 2月26日難波グリーンガーデンで開催の献血推進活動について準備作業をおこなった。
  - 10:00～難波献血ルームの見学会を行う予定である。
  - 平成23年度事業計画について打合せをおこなった。
  - 総会議長候補に大阪赤十字病院の山本裕之氏を選任した。

##### 4. 事業局

- 〈情報組織部〉
- 12月16日に部会を開催した。
  - 技師長会2月19日技師長会が開催される予定である。
  - 内容は、12月に行ったアンケート調査及び目標管理とする。
  - 平成23年度事業計画について検討した。
  - 平成23年度大臨技の方向性について確認した。
- 〈地区事業部〉
- 12月16日に部会を開催した。
  - 施設連絡者会について最終確認をした。
  - 日時：平成23年1月22日(土) 14:00～17:00  
会場：大阪府病院年金会館 200名収容
1. 技師会報告
- ①緊急検査部会発足に向けての現状での考え方。
  - ②当会の現状と今後の活動について
2. 特別講演
- 「インフルエンザを中心とした本邦での予防接種の現状」
- 〈学術部〉
- 12月14日に部会を開催した。
  - 近臨技学術部会に関して報告した。
  - 平成23年度事業仕分けに関して検討した。

- 第4回学術部講演会に関して検討した。  
テーマ：肝臓、会場：あべのメディックス  
日時：3月25日14：00～16：45とする。

- 平成23年度事業計画を会員に広報するための大臨技  
ニュース掲載原稿の提出を各部責任者に依頼した。

### Ⅲ.他、報告

- 1.運天副会長より会員登録および賠償責任保険登録の状況について以下の報告があった。
  - 1月現在で日臨技賠償責任保険加入者は39,219名で加入比率71.4%である。その内大臨技加入者は2,229名で大臨技賠償責任保険加入者は95名である。
  - 日臨退会届を出している会員は別途日臨技賠償責任保険の解約届けを保険代理店に提出する必要があることをメーリングリストで伝えた。
- 2.吉本常務理事より会員管理システムについて以下の報告があった。
  - 12月13日に会員管理システム構築を行った。
  - 大臨技会員番号については、現日臨技会員および再入会員は、現行の日臨技会員番号を使用する。新入会員は、279001から採番し、賛助会員は001から採番する。
- 3.吉本常務理事より行事スケジュールの管理について以下の報告があった。
  - HP上の管理は、担当者が入力できるようにシステムを作成中で、2月理事会に報告する予定。
  - 基本的に大臨技の年間行事を優先とし、2カ月前に行事が入っていない場合は、担当者相互の判断の上で入力する。
- 4.竹浦副会長より日臨技施設認証の状況について報告があった。
  - 一般認証は12月25日大臨技事務所で行われ、参加申込み病院が2件、検査所が5件のうち1件については、検査分野でないのでコメントを記入し日臨技に送付した。
- 5.その他
  - 日臨技主催輸血研修会開催の依頼については、大臨技が和歌山県で開催する事になった。

### Ⅳ.議題

#### 1.総会について

- 吉本常務理事から資料に基づいて以下の説明を行い、各員に確認した。
- 大臨技・日臨技総会出席・委任状取扱い、開催案内と委任状書面および総会スケジュールについて。
  - 委任状の返送については、3月3日必着とする。
  - 感謝状該当者はなし。

#### 2.平成23年度事業仕分けについて

- 各部より公益事業比率を高くするため事業内容を修正した。結果は、情報組織部60%、地区事業部60%、学術部40%を公益事業とした内容であった。
- また、補助金収入の不足を補うため、各事業で会場費、印刷費として広告掲載等の協力をプロモーションコードに抵触しない範囲で賛助会員に依頼することについて、理事会で承認された。
- 公益認定取得を確実にするため、公益法人移行支援をするコンサルタントと契約をすることについても承認された。コンサルタント費については経費の負担にならない範囲で事務局（運天）が交渉する。

#### 3.その他

- 第46回「小島三郎記念技術賞」に宮野理事を大臨技として推薦とすることとした。
- 第6回南大阪睡眠呼吸障害研究会の後援について承認した。
- 吹田市民健康づくり講演会案内を大臨技ホームページに掲載することとした。